

科目名	内部障害理学療法学特論	担当教員	信太 雅洋 森野 陽 ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	-------------	------	-----------------------------------

開講専攻	分野	種別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	4年次	後期	2単位	講義
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR41DE	②、③					

科目概要	「内部障害理学療法学」、「内部障害理学療法学演習Ⅰ、Ⅱ」で学習した呼吸リハビリテーション、心臓リハビリテーションに関する知識をもとに、内部疾患に対するリハビリテーションにおける問題解決型学習を中心に実践する。具体的には、解剖学的・症候学的視点から治療アプローチの関連性について理解を深めること、グループワーク形式を用いて、コミュニケーション能力や問題解決能力の向上を図る。
学習目標	① 呼吸リハビリテーションに関連する解剖学、生理学の知識を整理し、また呼吸リハビリテーションにおける評価・治療に関する理解を深める。 ② 心臓リハビリテーションに関連する解剖学、生理学の知識を整理し、また心臓リハビリテーションにおける評価・治療に関する理解を深める。 ③ その他内部障害リハビリテーションに関連する解剖学、生理学の知識を整理し、リハビリテーションにおける評価・治療に関する理解を深める。

回	項目	主な学習内容	到達目標	実務経験教員担当項目
1	オリエンテーション 呼吸リハビリテーション(1)	オリエンテーション 呼吸リハビリテーションに関連する解剖学・生理学	気管、肺の構造の理解を深める。	
2	呼吸リハビリテーション(2)	呼吸リハビリテーションに関連する解剖学・生理学	気管、肺の機能の理解を深める。	
3	呼吸リハビリテーション(3)	呼吸リハビリテーションの評価と治療	COPD における呼吸リハビリテーションの評価と治療の理解を深める。	
4	呼吸リハビリテーション(4)	呼吸リハビリテーションの評価と治療	肺炎に対する呼吸リハビリテーションの評価と治療の理解を深める。	
5	呼吸リハビリテーション(5)	呼吸リハビリテーションの評価と治療	その他の呼吸器疾患に対する呼吸リハビリテーションの評価と治療の理解を深める。	
6	心臓リハビリテーション(1)	心臓リハビリテーションに関連する解剖学・生理学	心臓の構造と機能についての理解を深める。	
7	心臓リハビリテーション(2)	心臓リハビリテーションに関連する解剖学・生理学	血管や血液の構造と機能についての理解を深める。	
8	心臓リハビリテーション(3)	心臓疾患の評価と治療	心臓疾患の病態と治療についての理解を深める。(ポンプ不全・心筋虚血・不整脈)	
9	心臓リハビリテーション(4)	心臓リハビリテーションの評価と治療	心電図を含め運動生理についての理解を深める。	
10	心臓リハビリテーション(5)	心臓リハビリテーションの評価と治療	急性期・慢性期のリハについての理解を深める。	
11	その他内部疾患に対するリハビリテーション(1)	その他内部疾患に対するリハビリテーションに関連する解剖学・生理学	消化器、内分泌器、腎臓の構造の理解を深める。	
12	その他内部疾患に対するリハビリテーション(2)	その他内部疾患に対するリハビリテーションに関連する解剖学・生理学	消化器、内分泌器、腎臓の機能の理解を深める。	

13	その他内部疾患に対するリハビリテーション(3)	その他内部疾患に対するリハビリテーションに関連する解剖学・生理学	消化器、内分泌器、腎臓の機能の理解を深める。	
14	その他内部疾患に対するリハビリテーション(4)	その他内部疾患に対するリハビリテーションの評価と治療	糖尿病などに対するリハビリテーションの評価と治療の理解を深める。	
15	その他内部疾患に対するリハビリテーション(5)	その他内部疾患に対するリハビリテーションの評価と治療	腎疾患などに対するリハビリテーションの評価と治療の理解を深める。	
評価方法		筆記試験（80%）、平常点（20%）		
課題に対するフィードバック		1 講義中・講義終了後に質問を受け、回答する。 2 定期試験の解説は、オフィスアワーの時間帯で対応する。		
教科図書		なし		
参考図書		<p>【共通】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・細田多穂・監『内部障害理学療法学テキスト 改訂第3版』南江堂、2017年 ・医療情報科学研究所・編『クエスチョン・バンク 理学療法士・作業療法士国家試験問題解説』医療情報科学研究所、2022年 <p>【代謝障害（糖尿病）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本糖尿病学会・編著『糖尿病治療ガイド2018-2019』文光堂、2018年 ・清野裕、他・監『糖尿病の理学療法』メジカルビュー社、2015年 <p>【呼吸器】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本呼吸ケア・リハビリテーション学会、他・編『呼吸リハビリテーションマニュアル運動療法 第2版』照林社、2012年 ・高橋仁美、他・編『動画でわかる呼吸リハビリテーション 第3版』中山書店、2012年 ・玉木彰・編『15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 呼吸 第2版』中山書店、2017年 ・千住秀明、他・監『呼吸理学療法標準手技』医学書院、2008年 ・医療情報科学研究所・編『病気がみえる 呼吸器 第3版』メディックメディア、2018年 <p>【循環器】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居村茂幸・監『ビジュアル実践リハ 呼吸・心臓リハビリテーション 改訂第2版』羊土社、2015年 ・石川朗・他著『15 レクチャーシリーズ理学療法テキスト 内部障害理学療法学 循環代謝 第2版』中山書店、2017年 ・医療情報科学研究所・編『病気がみえる 循環器 第4版』メディックメディア、2017年 		
学習の準備		内部障害理学療法学、内部障害理学療法学演習Ⅰ・Ⅱで学習した内容を復習しておくこと（180分）		
オフィスアワー		月・火・木・金曜日の16時30分から18時		
担当教員欄に※印を付した教員の実務経験				